

# 農村振興活動体験が学生に与える影響

## An effect of rural development activity on participating college students

○多炭雅博\*・豊満幸雄\*・筒井義富\*\*

Masahiro Tasumi, Yukio Toyomitsu, Yoshitomi Tsutsui

### 1. はじめに

近年、農村では耕作放棄や水路などの粗放化が進んでおり、農地や農業用水によって発揮されていた農村の多面的機能が低下しつつある。農村環境の維持管理には生活の主体者である地域住民による主体的な取り組みが不可欠であるが、問題の根源が農村の過疎化・高齢化にあるため、農家や農村単独での地域環境の維持管理は難しくなっている。そこでこれからの農村環境の維持管理は、外部との交流・協働も視野に入れたオープンかつ包括的な展開が必要である。

NPO法人TEAM・田援は、宮崎県内において農村振興を視野に入れた地域環境点検活動を行っている。この活動には地域住民に加え、地域の外からの視点も取り入れた環境点検を行う目的で、農業土木分野の大学生も多数参加している。本研究ではこのような地域振興活動に大学生が参加することで学生が受ける影響について、アンケートによる調査を行った。結果をここに報告する。

### 2. 地域環境点検活動

宮崎県内の農村（3ヶ所）において計4回、住民と大学生による地域環境点検活動を行った。これらの活動概要を表1に、住民と学生による地域環境点検の様子を図1に示す。第3回（一部第4回）の活動の際には参加学生に対してアンケートによる意識調査を行い、地域振興活動への参加が大学生にどのような影響を与えるのか、その効果について学生の意識面からの調査を試みた。

表1. 地域振興活動の取組状況

回	日時	場所	参加学生人数*				参加住民人数*		アンケート実施の有無
			3年生	4年生	大学院生	計	大人	子ども	
第1回	2007/12/16	集落①		8 (4)		8 (4)	14 (6)	1 (1)	×
第2回	2008/1/12	集落②		8 (4)		8 (4)	5 (2)	-	×
第3回	2008/11/8	集落①	11 (4)	12 (6)	2 (1)	25 (11)	18 (11)	4 (3)	○
第4回	2008/11/15	集落③	2 (0)	7 (4)	1 (1)	10 (5)	14 (0)	-	○

\*カッコ内は女性で内数

\* 宮崎大学農学部 (Faculty of Agriculture, University of Miyazaki)

\*\* NPO法人TEAM・田援 (NPO Team-Denen)

キーワード：農村振興，大学教育，現場体験



図1. (左から順に) 環境点検の様子・公民館での点検マップ作成と発表会

### 3. アンケート調査とその結果

学生に対して行ったアンケートの主な質問項目を表2に示す。アンケートは多様な質問項目を含んでいるが、本研究では特に、学生の生まれ育った環境を問う設問と地域活動の教育的効果について問う設問に注目して解析を行った。

地域振興活動への参加が大学での専門教育や人材育成面で何らかの効果を持つと思うかどうかを問う質問には、35%の学生が「とても効果がある」、61%の学生が「やや効果がある」、0%の学生が「あまり効果がない」、4%（1名）の学生が「効果がない」と答え、ほとんどの学生が地域振興活動の参加に何らかの教育的効果を見出していることがわかった。この教育的効果と学生の生まれ育った環境との関係を調べたところ、都市部出身者ほど地域振興活動への参加により強い教育的効果を見出す傾向があった（図2）。ここで何をもち「教育的効果があった」と感じるか自体にも出身環境によるある程度明確な差異がみられた。都市部出身者は農村での体験全般を抽象的に「現場を知る＝教育的効果がある」と捉えているのに対して、農村部出身者は農村振興や環境管理に直結するような、具体的かつ専門的な体験に対して教育的効果を感じる傾向にあった。農村振興活動への参加が今後の学生自身に与える影響を問う設問からは、学生の農村振興活動への参加は専門教育に対するモチベーションの上昇と社会活動への関心度の上昇、両方に同程度貢献したことが伺えた。なお、学生アンケートと並行に地域住民に対して行ったアンケート調査では、地域住民の大部分は大学生の参加を歓迎していたことがわかっている。

このように、農村振興活動に農業土木分野の大学生が参加することは、地域にとって「外部の視点」として機能するだけでなく、参加した学生自身にとっても自己の専門性を高めるための意識などに良い影響を与えることがわかった。

表2. 学生に対するアンケート項目概要

地域振興活動参加前	<b>学生自身の属性を把握するための設問</b>
	・ 親の職種(農林漁業関係・その他等)
	・ 小学校から高校までの居住環境(都市・平地農村・中山間等)
	・ 小学校から高校までの遊び環境(家の中・公園・自然等)
参加後	・ 小学校から現在までの旅行歴(都市・観光地・農村等)
	・ 本人の希望職種(農林漁業関係・その他等)
	<b>農村環境に対する認識と興味を把握するための設問</b>
	(省略)
参加後	<b>地域活性化の在り方を問う設問</b>
	(省略)
	<b>農村環境に対する認識と興味を把握するための設問</b>
	(省略)
参加後	<b>地域活性化の在り方を問う設問</b>
	(省略)
	<b>地域活動の教育的効果について問う設問</b>
	・ 地域振興活動への参加は専門教育や人材育成面で効果が有ると思うか(とても効果がある/やや効果がある/あまり効果がない/効果がない)
	・ 具体的にどのような効果があると思うか(記述式)
	・ 今回の活動参加は今後の自分に影響を与えると思うか(将来地域振興に関わる活動や仕事がしたくなった等)

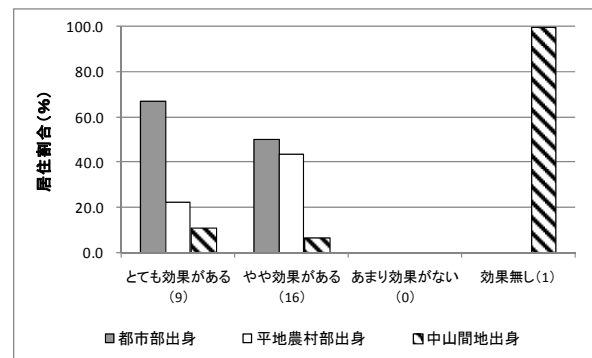


図2. 地域振興の教育的効果と、小中高校時代の居住環境との関係(カッコ内数字は回答者数)